

議 事 錄

日時：2004年3月7日（水） 10：30～12：00

会場：スポーツランド菅生ホテルくぬぎ荘B2F会議室

出席：中村委員長（宮城支部） 佐藤副委員長（宮城支部） 佐々木委員（岩手支部） 山本委員（秋田支部・ラリー部会長） 鎌田委員（秋田支部） 伊藤委員（秋田支部） 仲野委員（山形支部） 菅野委員（福島支部） 米森委員（レース部会長） 大谷委員（ジムカーナ部会長） 日向委員（ダートトライアル部会長） 須田氏（福島支部） 小野事務局長、

議案：第1号 第104回議事録（案）の承認

第2号 第25回J M R C 東北総会について

第3号 2004年度活動計画について

第4号 その他

報告： 全国協議会

各支部会

各専門部会

その他

議事録 中村委員長が議長会議は進行した。事務局より欠席委員（委任状出席）の報告がなされた。

議案 出席委員により確認が行われ承認された。

議案 まず事務局より総会の式次第について説明され、それぞれ担当が決定した。審査委員グループの仲野リーダーより11月9日の会議の報告と04年度も派遣は同県内もしくは隣接県とし報告書も見直ししているとの事であった。続いて04年度の予算案と計画等について検討され、審査委員グループを専門部会して当初予算として5万円計上する事、レース部会の予算の2万円上乗せに付いて等再検討され承認された。

議案 例年通りの活動が中心に成る事、オールスターにより多く参加して欲しい事（特にダート） 各支部活動の活性化、会費の見直しについて等が委員長より提案されて検討していく事とした。

議案 05年のオールスターダート開催に向けて福島支部で企画書を作成して全国に提出する事とした。イヤーブックの広告を他の部会でも集めて欲しいとの要望があった。イヤーブックの配布についての意見が出され検討された結果、共済加入者に配るのが妥当との結論が出てクラブを通して配ってもらう事とした。クラブには2部配布する事とした。

報告 共済の適用範囲について（競技役員の保護）検討している事。

報告 秋田：フェスティバルで道路占有許可を取ってヒルクライムを行った事。

報告 ラリー：競技会が中止になり代わりに練習会をやって好評だったので今年も続けて行く事。ダート：大会が楽しくなるように努力していく事。ジムカーナ：全国の推進委員会でオールスターについて意見を述べてきた事（地域格差を無くすためのルール作り・J A Fカップとの共催）。レース：ランサーレースの本レース化、耐久レースを3戦開催する事。審査委員会：救急セット（備品）を準備して配って欲しい事。

報告 無し

統いて総会が行われるので昼食を取ってからとした。尚総会で何かあれば運営委員会を急遽開催する事として、議長により委員会の閉会が宣言され会は閉会した。